

令和6年10月2日
京都市文化市民局
〔担当 文化芸術都市推進室文化芸術企画課〕
〔電話：075-222-4200〕
〔公益財団法人京都市芸術協会〕
〔電話：075-213-1003〕

令和6年度 伝統芸能文化復元・活性化共同プログラムの採択

京都市及び公益財団法人京都市芸術文化協会では、伝統芸能文化創生プロジェクトの一環として「伝統芸能文化復元・活性化共同プログラム」を実施しています。

この度、今年度応募があった12件を審査した結果、2件を採択しました。今後、採択した事業について共同プログラムとして実施します。

1 伝統芸能文化復元・活性化共同プログラムとして採択した申請

件名	申請者等名	内容
石川県加賀市の獅子舞アーカイブを通じた次世代への芸能継承事業	石川県加賀市の獅子舞アーカイブを通じた次世代への芸能継承事業（石川県） 代表：吉野 裕之	石川県加賀市において各地域の獅子舞の写真や動画の撮影、実演家や関係者へのインタビュー、座談会などを通して、地域の獅子舞の特色や芸能を明らかにするとともに、獅子舞の所作や稽古手法などの映像記録を行うことで、獅子舞の担い手促進を図る。
各地域の鉾差しとの共同による剣（マネキ）の使い方調査及び試作、担い手育成事業	嵯峨祭 牡丹鉾保存会事務局（京都府） 代表：小林 昭八 田中 靖之	各地域の剣鉾の差し手と共同し、剣鉾行事で使用される剣の強度や材質、差し方など各団体の剣の特性を調査する。差し手の意見を汲み、若手にも安全に使用できる剣の試作、体験会の開催や映像発信を行うことで、次世代の担い手育成を行う。

2 審査会委員

（敬称略、五十音順）

氏名	役職等
草木 大	京都市文化芸術政策監
久保田 裕道	東京文化財研究所無形文化遺産部 無形民俗文化財研究室長
小林 昌廣（座長）	情報科学芸術大学院大学 教授
竹内 有一	京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター 教授
西岡 陽子	大阪芸術大学 名誉教授
廣岡 青央	京都市産業技術研究所 プロジェクト推進室 副室長
広瀬 依子	追手門学院大学 講師
吉田 純子	文化庁文化財第一課 主任文化財調査官（芸能部門）

3 お問い合わせ先

<伝統芸能アーカイブ&リサーチオフィス>

住 所： 〒604-8156

京都市中京区室町通蛸薬師下る山伏山町546-2

京都芸術センター3階

電話番号： 075-255-9600 F A X： 075-213-1004

E-mail： taro@kac.or.jp

ホームページ： <http://www.traditional-arts.org/>

(参考1) 伝統芸能文化創生プロジェクトについて

平成23年度に本市が策定した「国立京都伝統芸能文化センター（仮称）基本構想」に掲げるセンターに備えるべき機能の実現を目指すプロジェクト。伝統芸能文化に関する保存・継承・普及等の総合的な観点から、伝統芸能文化を取り巻く課題の改善に取り組む。本市の伝統芸能文化の活性化を図るとともに、文化庁とも連携し、全国の関係機関とのネットワーク構築を推進することで、日本の伝統芸能文化の振興に取り組み、京都の伝統芸能文化の創生につなげる。

(参考2) 伝統芸能文化復元・活性化共同プログラム

1 目的

伝統芸能文化の保存・継承・普及を目的とした活動を支援し、伝統芸能文化を現代に適合した形で復活させることを目指す。

2 特徴

伝統芸能文化に用いられる楽器・用具用品の復元や、古典芸能及び民俗芸能の活性化のための取組を公募により募集し、採択した取組を伝統芸能アーカイブ&リサーチオフィスと申請者が共同で実施する。

3 本プログラムとして負担する金額

上限額は、1件当たり70万円。

4 今年度募集期間

令和6年4月1日（月）～令和6年6月28日（金）

(参考3) 伝統芸能アーカイブ&リサーチオフィス (Traditional Arts Archive & Research Office 略称:TARO)

京都市、公益財団法人京都市芸術文化協会が設置する、上記のプロジェクトを推進するための事務局。